

雷を誘導する

時代は、避雷針から

雷を寄せ付けない

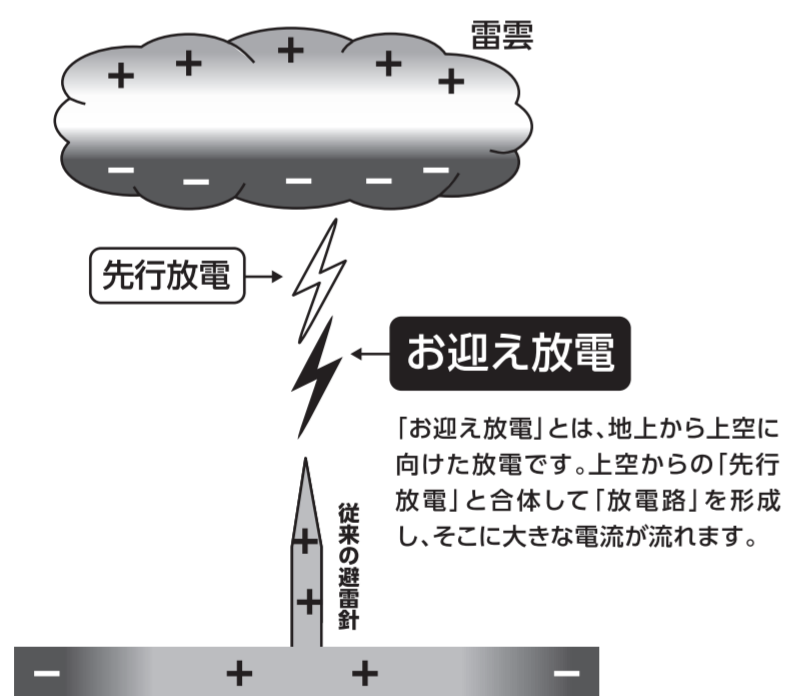
避雷球へ

避雷針の原理

ほんとうは“被”雷針

みなさんご存じの通り、従来の避雷針は先が尖った形状をしています。尖ったものから放電しやすいという原理を利用し、「この指とまれ!」と雷を呼び込む仕組みです。誘導した雷電流は、導線を通して地面に埋め込んだアースに向かって流れます。

この避雷針は、1752年にベンジャミン・フランクリンが考案しました。電気を発明したエジソンが生まれる前の、オイルランプの時代のことです。それから270年たった今も、避雷針の原理は変わっていません。

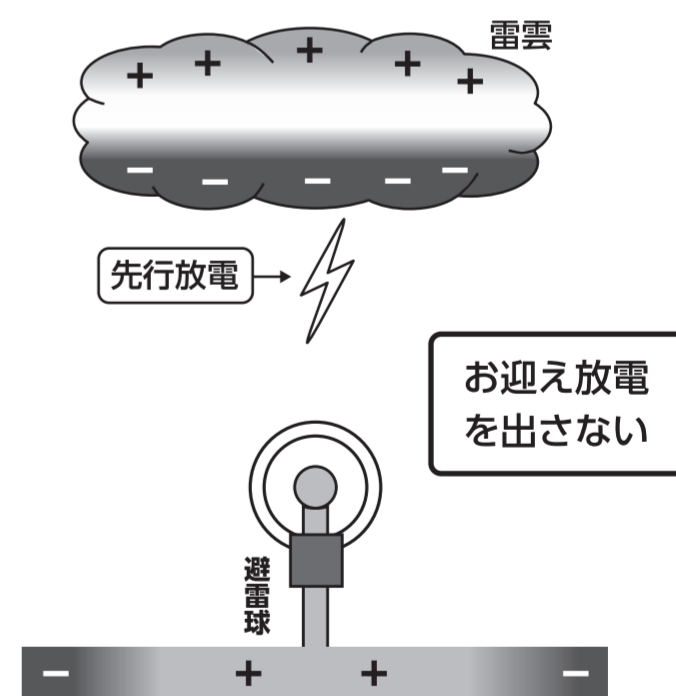


新しい落雷抑制

お迎え放電を シャットアウト

電化製品をはじめ、パソコンや制御システムなどさまざまな電子機器が使われる現在、“被”雷針で雷をあえて呼び込むメリットは少なくなりました。建物は守れても、内部設備や電子機器を守ることは難しいからです。

避雷球は、雷を「避ける」という本来の役割を追求した、雷を呼び込まないタイプの落雷対策製品です。二重構造の立体形キャパシタで、雷を呼び込む放電（お迎え放電）を出しません。落雷による事故を未然に防ぐ、新時代の雷対策です。



避雷球® 原寸大

日本 / 米国で特許登録済

日本: 特許第 6128539 号 米国: US 10,992,111 B2

落雷抑制システムズの避雷設備は 全国で 4,000 基が活躍しています



Lightning Suppression Systems

株式会社 落雷抑制システムズ

【本社】 横浜市西区みなとみらい 2-2-1 横浜ランドマークタワー 44F 電話: 045-264-4110

【関西支社】 大阪市北区角田町 8-47 阪急ランドビル 20F 電話: 06-7711-1821

落雷抑制

検索

<https://www.rakurai-yokusei.jp>

✉ info@rakurai-yokusei.jp

